

令和2年度 学校生活相談センターの相談状況について（9月末現在）

資料2

心の支援課

◆件数・回数の同期比較◆

	令和元年度 R1年度（～9月末）	→	令和2年度 R2年度（～9月末）	
相談件数	455件	→	460件	（5件 増）
延べ回数	814回	→	636回	（178回 減）

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	178	38.7%	245	38.5%
	夜間・休日	231	50.2%	324	50.9%
書（メール・FAX・手紙）	50	10.9%	66	10.4%	
来所	1	0.2%	1	0.2%	
計	460	100.0%	636	100.0%	

2 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	160	34.8%	227	35.7%
本人	155	33.7%	222	34.9%
本人以外の子ども	5	1.1%	5	0.8%
大人	289	62.8%	398	62.6%
父	42	9.1%	51	8.0%
母	182	39.6%	257	40.4%
祖父	1	0.2%	1	0.2%
祖母	18	3.9%	23	3.6%
その他の大人	46	10.0%	66	10.4%
不明	11	2.4%	11	1.7%
計	460	100.0%	636	100.0%

3 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	188	40.9%	265	41.7%
女	185	40.2%	272	42.8%
不明	87	18.9%	99	15.5%
計	460	100.0%	636	100.0%

4 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
関係機関へ連携した案件	24	5.3%	42	5.2%

主な連携先（延べ回数）

小中学校（私立含む）	… 7回	警察関係	… 0回
高等学校（私立含む）	… 21回	児童相談所	… 1回
県教育委員会（教育事務所含む）	… 5回	こども・家庭課	… 0回
市町村教育委員会	… 2回	私学振興課	… 2回

5 相談の主訴（全体）

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに 関すること	いじめ・嫌がらせ	31	6.7%	41	6.4%
	不登校・登校渋り	68	14.8%	100	15.7%
	その他	92	19.9%	133	20.9%
学校・教師に関すること		82	17.9%	101	15.9%
家庭・私生活に関すること		64	14.0%	104	16.4%
意見・問い合わせ		93	20.2%	114	17.9%
その他		30	6.5%	43	6.8%
計		460	100.0%	636	100.0%

(1) 主訴（子どものみ）

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに 関すること	いじめ・嫌がらせ	8	5.0%	9	4.0%
	不登校・登校渋り	11	6.9%	18	7.9%
	その他	57	35.6%	92	40.6%
学校・教師に関すること		30	18.7%	34	15.0%
家庭・私生活に関すること		30	18.8%	43	18.9%
意見・問い合わせ		12	7.5%	13	5.7%
その他		12	7.5%	18	7.9%
計		160	100.0%	227	100.0%

(2) 主訴（大人のみ）

区分		相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに 関すること	いじめ・嫌がらせ	22	7.6%	31	7.8%
	不登校・登校渋り	57	19.7%	82	20.6%
	その他	34	11.8%	40	10.1%
学校・教師に関すること		52	18.0%	67	16.8%
家庭・私生活に関すること		34	11.8%	61	15.3%
意見・問い合わせ		75	26.0%	95	23.9%
その他		15	5.2%	22	5.5%
計		289	100.0%	398	100.0%

6 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
就学前	4	0.9%	6	1.0%	
小学生	小学生（低学年）	35	7.6%	42	6.6%
	小学生（高学年）	51	11.1%	67	10.5%
	小学生（不明）	14	3.0%	14	2.2%
中学生	110	23.9%	149	23.4%	
高校生	177	38.5%	254	39.9%	
その他	47	10.2%	77	12.1%	
不明	22	4.8%	27	4.3%	
計	460	100.0%	636	100.0%	

結果（概要）

- ・相談件数は前年度（455件）を上回っているが、1回の相談で終わるケースが多く延べ回数は前年度（814件）を下回った。
- ・子どもからの相談は「いじめ・嫌がらせ」の相談が8月の3.8%から5.0%と増加。二学期がはじまり、友人からの嫌がらせを訴える相談が増加。
- ・大人からの相談は「不登校・登校渋り」の相談が8月の17.4%から19.7%と増加。「二学期に入り登校できていない」「学校に行きたがらない子どもにどのように対応したらよいか」などの相談が多く寄せられた。